

はじめに
3つ!

難病患者さんのための 地震災害への備えのすすめ

難病患者さんの場合、内服薬が特別な薬であったり、病状によっては移動が難しいことや、医療機器を使用しているなどのことから、ご自身に合った準備が必要になります。様々な備えの中で、まず、3つの備えについておすすめします。

1 薬と処方せん、食事セット(治療食など)の準備

- ・地震発生から**最低3日分(できれば7日分)**は備蓄がすすめられています。特に、**医療材料、衛生材料**については**最低7日分は備蓄を!**
- ・**在宅酸素、クローン病等による成分栄養剤、膠原病によるステロイド系薬品**を使用されている方など、**日頃欠かせない治療薬**などについて、準備を整えましょう。



2 お住まいの市で 要支援者名簿の情報提供に同意 をしておきましょう

(避難に支援が必要な方)

- ・1995年の阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋から救出された人の**約8割は家族や近所の人々によって救出された**といわれています。**日頃からの声掛けや準備**をしておきましょう。
- ・「思うように体が動かない」「家族だけでは避難させることが困難」などの場合には、市が作成する**避難行動要支援者名簿(災害時要援護者名簿)**の**情報提供に同意**しておきましょう。◎対象者に要件がありますので、詳しくは、お住まいの市の窓口にお問い合わせください。

<市役所窓口>

碧南市 : 福祉課、高齢介護課 ☎0566-41-3311(代表)

刈谷市 : 福祉総務課 ☎0566-62-1012 長寿課 ☎0566-62-1063

安城市 : 障害福祉課 ☎0566-71-2225

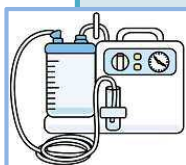
知立市 : 福祉課 ☎0566-83-1111(代表)

高浜市 : 地域福祉グループ ☎0566-52-9871

みよし市 : 福祉課 ☎0561-32-8010

3 医療機器を在宅で使用されている場合など 災害時のための準備をすすめましょう!

- ・**人工呼吸器や吸引器**などを使用されている場合には、特に**停電に対する準備**が必要となります。予備のバッテリーや発電機の準備、練習についてなど、**日頃の支援者(医療・福祉等関係機関)や保健所の保健師**と一緒に考えます。



衣浦東部保健所健康支援課 ☎0566-21-9338(ダイヤルイン)



チェック

✓ 日頃の準備の例について、項目をあげてみました。確認してみましょう！

家具・家屋の点検

耐震診断
耐震改修

家具類の
固定(特に寝室、居室)

ガラス飛散防
止フィルムの
貼り付け

準備できて いますか？

非常持出し
品、備蓄品

枕元に 笛、
懐中電灯、靴

地域の防災訓
練への参加

知って いますか？

ご近所さん
の顔

災害用伝言
ダイヤルの
使い方

避難場所

避難の前に すること

ガス・水道の
元栓を締める

電気のブレー
カーをOFFに
する

戸締りをする

内容の詳細については、愛知県防災局ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/bousai>)などを参考にしてください。

大地震！そのとき近所で協力

もし、出火したら…

みんなで火事を消そう



一人で通報と初期消火を同時に行うのは無理があります。必ず近所の人に応援を求めて、小火のうちに消し止めましょう。

大声で知らせる



「火事だ！」と大声を出し、隣近所に助けを求めましょう。

声を聞いたら

すぐ119番通報してください。しかし大地震で数多くの火災が起きている場合、消防車の手が回らないこともあります。消火器か水をくんだバケツを持って駆けつけます。

大声を出して、できる限り多くの人を動員しましょう。

初期消火

火炎に正対しないように姿勢を低くして消火器を構え

- ① 安全ピンを抜き
- ② ホースを火元に向け
- ③ レバーを強く握ります

天井に着火したら、初期消火の限界です。すぐ避難しましょう。

救出・救護のしかた

タンス等転倒家具からの救出

挟まれている人数を確認し、声をかけ安心感を与えるとともに、てこの原理を利用して隙間をつくり、痛みを和らげるようにします。

持ち上げてできた空間が崩れないよう角材等で補強し、隙間があれば、てこの代わりに自動車用ジャッキを使って持ち上げます。

日頃からの声かけ、備え

近所の人と、日頃から積極的に交流を深め、わが家の状況を自主防災組織や自治会に説明し、適切なサポートを依頼するなど、オープンな備えが必要です。

また、必要な処置や薬を書いたものを常に携帯するようにしましょう。



(愛知県防災局ホームページより内容抜粋)